

若松かねしげ四季報(春季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維

2015年12月15日～2016年3月31日

1月4日から通常国会が始まりました。3月11日は東日本大震災からちょうど5年を迎え、復興創生期間という新たなステージで復興副大臣を務めています。また、夏には参院選があり、政治の安定のため負けれない選挙です。これらの諸課題に全力で取り組んでまいります。

1. 政局

(1) 1月4日からの通常国会開会と法案審査

7月の参院選を視野に、平成28年度予算を3月中に確実に成立させるため、新年早々、1月4日から通常国会が始まりました。

一億総活躍社会、TPP対策、復興加速化等を盛り込んだ総額3.3兆円の平成27年度補正予算は1月20日成立しました。

従来の経済アベノミクス3本の矢に加え、「希望出生率1.8」、「介護離職ゼロ」が新たに盛り込まれ、新アベノミクスを反映させた平成28年度予算は、教育費の負担軽減、地方創生等の施策も含まれ、97兆円(昨年96兆円)の予算編成となりましたが、予算審議も大きな混乱なく、3月29日に成立しました。

一方、今通常国会には55本の法案(昨年72本)が提出されました。軽減税率が盛り込まれた税制改正法は成立し、TPP関連法案は4月から衆院特別委員会で審査が始まりますが、昨年の平和安全法制のような激しい国会運営にはならないと思われます。

(2) 民進党誕生と民共合作

3月27日、民主党と維新の党が合流して「民進党」が誕生しましたが、選任された岡田代表は、「我々は政権与党として、十分な期待に応えられなかったこと、大事な時に結束できなかったこと、離合集散を繰り返したことを深く反省しました」と、反省の弁から始まりました。民主党から分離した維新の党との合併は、同じ議員による再婚としか見え、前述の反省の弁の再来は否定できません。

一方、共産党は野党連携の旗振役を強調していますが、他の野党からの警戒心も強く、その進展が遅い中、共産党自らが参院選挙区候補者の取り下げ、無理やり野党共闘を進める手法に、国民の支持が広がる気配は見えません。

一方で、自民党所属閣僚または議員による不適切発言がたびたびあり、山口代表から安倍総理へ苦言を呈す場面もありました。

(3) 参院選と衆院選のダブル選挙

来年4月の消費税10%引き上げを巡り、様々な憶測が飛び交っています。安倍総理は、国内外の著名人による「経済分析会議」をたびたび開催し、国内外の経済環境を分析しています。一方、夏には年末の予算編成に向けた議論が始まりますが、選挙区の定数は正があった参院選では公明党過去最多の7選挙区に挑むため、衆院選の余裕はありません。衆議院では大島衆議院議長による定数是正の調整が大詰めを迎え、仮に定数是正が決定されると新選挙制度徹底には周知期間が必要となるため、総理がダブルは全く考えていない、と発言する根拠は大きいと思われます。

2. 復興副大臣公務・国会活動・党務

(1) 復興副大臣公務活動

10月9日の復興副大臣就任から175日経ち、この間、公務、政務合わせて102日、福島県に入りました。

〔復興式典〕

復興の進展もあり、復興予算を活用した施設の竣工式出席が多くなりました。

- ① 楡葉町：県立大野病院ふたば復興診療所（1月31日）、住鉱エナジーマテリアル（3月24日）
- ② 広野町：新春パークゴルフ大会（1月11日）、ひろのてらす（3月5日：イオン店）、みらいオフィス（3月26日）
- ③ 川内村：YO-TASHI（3月15日：ショッピングセンター）
- ④ 南相馬市：真野川漁港（3月21日）

〔復興基本方針〕

3月11日閣議決定された、今後5年間の「復興創生期間」に実施すべき「復興基本方針」（総予算6.5兆円）策定に至るまで、復興推進委員、福島県、公明党などから意見聴取を行いました。

〔茨城県視察〕

2月9日、潮来市日の出地区で起きた液状化現象の復興工事を視察しました。同地区では多くの家の塀が傾いたままでしたが、液状化対策は進んでいました。しかし、隣の鹿嶋市平井東部地区は住民合意に時間を要し、これから本格工事に入ることから、時間差を感じました。

3月7日、東海村南台団地の暗きょ施設を視察しました。3～40年前盛土した宅地が5年前の大震災で液状化し、団地の端の法面が膨らむ現象が起き、住宅の地下に暗きょを設けた水抜き工事を行っていますが、こうした工法をみたのは初めて経験でした。その後、10年前から廃炉作業を行っている東海村日本原子力(株)を視察し、すでに使われた原子炉周辺の750トンある熱交換器を解体する現場及びロボットを視察しました。

〔ソウル出張〕

2月19日夜、ソウルの日本大使館公邸で開催された「日本物産展示会前夜祭」に出席しましたが、その前後に一部の環境団体が翌日から開催予定の福島県産品（韓国内で流通している製品）を含む展示会に対する反対運動がおこり（地元写真では3名）、ソウル市城東区長が開催許可を出さず、開始直前にキャンセルとなりました。今回の反省を踏まえ、近隣諸国の風評被害払拭にさらに全力を尽くします。

〔福島復興局訓示〕

「復興集中期間」から「復興創生期間」に移行するにあたり、3月14日、福島復興局責任者として、福島市内の福島復興局の職員約60名に対して「訓示」を行いました。避難生活が長期化する被災者に、今まで以上に寄り添い、また、イノベーションコースト構想等の未来につながる事業を有機的に実施するため、職員の知恵を結集しながら、「新生福島」をスローガンの掲げ、結束して頑張ろうと訴えました。

〔仮設住宅視察〕

3月11日以降、仮設住宅の住民懇談会に多くの時間を割き、現場の課題を聴取しています。避難解除された檜葉町民が住む仮設住宅（いわき市）は自治会を解散したため、コミュニティ不在による課題の顕在、高齢者比率が多く自治会組織ができない双葉町の仮設住宅（いわき市）、富岡町民が住む仮設住宅（郡山市）の自治会後継者が見つからないなど、同じ町村でも、仮設住宅に関する課題は多種多様です。このため、3月28日、福島県庁に伺い、県としての取り組みをヒアリングし、復興庁としてできることを検討しています。

〔福島復興再生協議会等〕

3月27日、福島市において、復興、経済産業、環境3大臣および内堀知事はじめ、県内関係首長による「福島復興再生協議会」が開催され、120分の大会議の司会を務めました。その後、隣の会場で行われた、安倍総理が3月5日指示した「福島新エネ社会構造実現会議」の発足会合に出席しました。1年前出版した『福島再エネ100%イノベーション』政策が大きく前進します。

（2）委員会活動

〔東日本大震災特別委員会及び原子力問題特別委員会〕

通常国会での復興予算審議のため、本特別委員会が衆参両院で数回開催され、私は3度の委員会で答弁しました。

〔文教科学委員会〕

平委員としての委員会開催時の出席だけですが、学校監査の経験から、委員会での質疑応答を興味深く聞いています。

（3）党務

① 中央幹事

公明党中央幹事として、毎週木曜日、山口那津男代表らと党本部で行われる中央幹事会に出席し、党の重要案件について議論・了承しています。

3月16日、平成5年の中選挙区制時代、私の選挙区であった「さいたま市中央区党員会」で講演の機会をいただきました。懐かしいお顔が多く、長年にわたるご支援、激励に対して、甚深の感謝をお伝えしました。

② 全国代表者会議

2月27日、公明党本部で、全国代表者会議が開催されました。夏の参院選前最後の全国代表者が集まる重要会合であり、山口代表中心に結束して、7選挙区完勝、比例区6以上の勝利を確認し合いました。

③ 復興加速化会議

毎年、3月11日前後に開催される復興加速化会議が12日は福島と岩手で、13日は宮城で開催され、私は福島県の会議に出席しました。

大震災から5年間、一緒に戦った福島県本部所属の地方議員に、甚深のねぎらいと感謝の意を伝え、併せて復興庁の最近の活動を紹介しました。

その後、山口代表とともに双葉町役場いわき事務所で伊沢史朗町長から要望を受け、楢葉町のモックアップ施設の視察では、3Dメガネをかけ原子炉建屋内のリアルな立体映像技術を体験しました。

④ 県本部主催パーティー

この時期は東北各県本部の政経パーティーが開催され、私は2月8日宮城県本部、2月13日山形県本部、3月23日郡山市、24日いわき市での福島県本部主催のパーティーに出席させていただきました。

3. 国会外・地域活動

(1) 新春街頭演説と新年会

1月1日朝は郡山市で、午後は山形市で今年初の街頭演説を行い、2日は福島市で実施しました。

今年は1月4日から通常国会が始まったため、昨年に比べ東北での新年会参加は減りましたが、復興副大臣としての都内の新年会が増え、昨年と同じ21会場の賀詞交歓会に出席することができました。

(2) 統一外地方選挙と参院選

猪苗代町では28年ぶりに公明党公認候補を擁立し、私は1月24日に支援拡大対策を行い、2月15日の告示日に出陣のあいさつをさせていただきました。

南陽市は、2月21日、支援拡大対策に訪れました。

北上市は、2度目の2名候補者の戦いとなり、3月6日開催された時局講演会と20日の告示日、出陣式であいさつさせていただきました。

よこやま信一参議院議員の候補者としての動きが活発化し、本人の代わりにあいさつする機会が増えてきました。現在、若松事務所の全員が、各自の目標を決め、

毎週、打合せをおこなっています。

(3) 北海道政務

1月15日、札幌市で開催された公明党北海道本部賀詞交換会に出席いたしました。1月30日は札幌福島県人会に出席し、福島復興状況を報告いたしました。

(4) 後援会活動および地元会合

1月22日、仙台市内で仙若会を開催し、昨年の宮城県議選で当選した遠藤伸幸（青葉区）、庄子賢一（宮城野区）もあいさつの機会をいただきました。

2月5日、福島県行政書士会の被災地に関わる数人のメンバーにお声がけし、福島復興局内で被災者支援についての意見交換を行いました。

3月25日、久しぶりにCPA政経フォーラムを開催し、私が講師となり、復興集中期間5年間に使った25.5兆円の用途や事業評価レビューの内容等を紹介し、公認会計士からのご意見を拝聴しました。

4. 若松事務所の現況報告

①国会事務所（恩田政策秘書、菊池秘書）

恩田さんと菊池さんがサポートしています。都内業務はほとんどが復興庁で、政務日程調整等で議員会館に寄る程度のため、両秘書の留守番役は重要となります。とくに、恩田秘書は市民相談に付きっきりです。

*東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館1207号室
Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

②福島事務所（佐藤第1公設秘書）

県都福島市の事務所は、福島県内の活動拠点だけでなく、県庁や県議会との連携を強化という重要な役割を担っています。佐藤秘書は仙台と福島の往復の毎日です。

*福島県福島市陣場町8-24 SSTビル2階
Tel:024-522-2500 Fax:024-522-2505

③盛岡事務所（太田第2公設秘書）

北東北3県（岩手・青森・秋田）の活動拠点として、盛岡市に事務所を設けています。参院選も本格化し、太田秘書は、青森、秋田での活動も本格化しています。

*事務所：岩手県盛岡市茶畑2-10-8ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）
Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

④上尾事務所（資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

*事務所：埼玉県上尾市仲町1-4-16
Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

以上。